



城陽市歴史民俗資料館

友の会だより

編集発行：城陽市歴史民俗資料館友の会
〒610-0121 城陽市寺田今堀1番地
発行日：令和元(2019)年7月1日

No. **44**
2019.7

NHKネットラジオ

「らじる★らじる」とともに

城陽市歴史民俗資料館友の会 会長

泰地 賢治

今、外は雨です。雨天と晴天を繰り返しながら、小誌がお手元に届くころには強い日差しが降り注いでいるかも知れません。会員の皆様、どうぞ自愛下さい。

令和元年の友の会の活動も後半戦を迎えます。8月に古文書講座が開講し、11月には研修見学会と仏像講座が予定されています。詳細につきましては改めてご案内しますのでご期待下さい。

さて、私事ながら、足腰の衰えに備え、これまで歩くことに心がけてきましたが、近頃は、単に歩くだけでなく、NHKネットラジオの「らじる★らじる」を聞きながら散歩しています。このアプリには「聞き逃し」というコーナーがあり、限られた期間ですが過去に放送された番組を聞くこ

とができます。最近、興味を持った内容として、例えばカルチャーラジオ歴史再発見「縄文時代研究の最先端を探る（国立歴史民族博物館教授 山田康弘氏）」が挙げられます。「貝塚があるということは、長期間、その地に人々が定住したことの強い傍証になる。貝塚には『ムラ貝塚』と『ハマ貝塚』がある。『ムラ貝塚』とは貝殻のほかに土器の破片などの生活物資が混在するもの。一方、『ハマ貝塚』とは貝殻のみが積層したもので、なかには当時、既に交易があったことを伺わせるものもある」とのこと。

皆様もお聞きになりませんか？ きっと面白い番組に出会えることでしょう。

令和元年度 古文書講座のお知らせ

城陽市民俗歴史資料館・友の会共催事業

古文書講座 [醒睡笑] を読む

講師：古文書・民俗文化財調査員 田中 香織氏

「眠りを覚まして笑う」という意味で「醒睡笑」と名付けられた笑いの話を、近世のくずし文字を解説しながら学んでみませんか。好評だった昨年に続く「醒睡笑」の第2弾ですが、短編読み物の集合本ですので初参加の方でも楽しんで頂けます。

日時：2019年8月9日・23日、9月6日・20日各(金) 10:00～11:30 ※全4回

会場：寺田コミュニティセンター会議室(文化パルク城陽西館3階)

参加費(資料代)：200円(全4回分) ただし一般の方は400円

定員：30名

申込み：7月20日⑤10:00～資料館へ電話または来館で申込みください。

友の会第51回研修見学会

南丹市立文化博物館、塩谷古墳公園

綾部市資料館、私市円墳公園、グンゼ資料館を 訪ねる

文：城陽市歴史民俗資料館館長 佐橋 徹

4月1日付けで城陽市歴史民俗資料館長に就任いたしました佐橋でございます。どうぞよろしくお願いたします。

さて、今回友の会主催の第51回研修見学会に参加させていただきました。その様子を紹介させていただきます。

4月20日（土）は早朝から、雲一つない青空が広がっていました。市役所から公用バスに乗り、近鉄寺田ロータリーに向かうとすでにたくさんの方が集合されています。受付で資料をいただき、バスに乗り、申込者全員参加のもと、バスは一路、南丹市立文化博物館へと向かいます。

南丹市立文化博物館では、犬持学芸員から説明



園部城天守閣が南丹文化博物館



園部城址 大手門は府立園部高校の正門になっています。

を受けました。館内には今林遺跡や天満宮祭礼の復元模型などが精巧に作られており、興味深く見学しました。また、出発時には隣接する府立園部高校の城門（園部城跡）について説明もしていただき、往時を偲ぶことができました。

続いて昼食をかねて、道の駅「京丹波味夢の里」に向かいました。

「京丹波味夢の里」では、京都府文化財保護指導員の湊さんから、塩谷古墳公園や「二人の巫女



南丹市立文化博物館は丹波最大級の遺跡である垣内古墳や南丹市の大部分を藩領に含む園部藩を中心に、古代から現代までの原資料を展示しています。

像」の説明を聞いたあと、塩谷古墳に向かいます。この古墳公園は5世紀から6世紀にかけて築造された12基の古墳から成り立つ古墳群です。湊さんのガイドで、道の駅から続く遊歩道を散策しながら、広大な古墳公園の大きさを体感することができました。

その後は参加者それぞれ昼食をとり、買い物を済ませた後、綾部市資料館へ向かいます。資料館では三好館長から説明を受けます。この後訪問する私市円山古墳から出土した甲冑や埴輪などが展示されており、予備知識を得ることができました。



〔道の駅味夢の里〕で塩谷古墳や、はにわ「二人の巫女」の解説。

当日はオカリナ奏者の宗次郎のコンサートもあるということで駐車場も満杯の中、資料館を後にし、私市円山古墳公園へ向かいます。

急な山道を登ること約15分、目的の頂上からは綾部の市街地を一望できました。この古墳は舞鶴若狭自動車道建設に伴い、事前に実施された発掘調査によって昭和63年に発見された京都府内最大の円墳です。眼下に由良川の流れを見ながら、往時を振り返り、一国の王になった気分でした。

バス乗車後、約15分でゲンゼ記念館に到着。土曜日にもかかわらず、説明は平日の内容で案内をしていただきました。

ここには1896年（明治29年）創業のゲンゼの様子を知ることができる歴史的資料が保存、展示されており、創業者の精神や社員の熱い思いに触れることができました。ゲンゼ（郡是）の由来や、壺糸業の振興とともに綾部の地域貢献に尽くそうとした志や技術革新に挑戦するチャレンジ精神など学ぶことがたくさんある見学となりました。

帰りは渋滞もなく、快適に縦貫道路を一路城陽へと向かいました。



ゲンゼ記念館では、〈郡是〉の由来や、地域社会の振興に寄与した先人の志を学ぶことができました。



塩谷古墳に登って古墳について説明を受けました。

今回は昨年度まで教育委員会に勤務されていた小泉さん（現在は京都府埋蔵文化財調査研究センター勤務）が友の会会員の一人として参加され、バスの中では、京都丹波の古墳について説明していただいたり、私市円山古墳公園ではより詳しい説明を聞かせていただいたりと、興味深い話からさらに学ぶことができました。

私は館長として友の会会員の皆様とご一緒させていただきました。京都府民として、まだまだ知りたいことがたくさんあり、古代ロマンへの興味がわくこととなりました。また何よりも、会員の皆様との会話から交流を深めることができ、とても有意義な一日となりました。

事前の計画や下見、当日の案内など、泰地会長をはじめ役員の皆様には本当にお世話になり、感謝申し上げます。最後まで雲一つない好天に恵まれて、無事に研修見学会を終えることができよかったですと思います。



綾部市私市円山古墳で参加会員の記念撮影

写真：城陽市歴史民俗資料館 友の会 小林 心一

令和元年6月8日(土)

JOYOエコミュージアム・城陽市歴史民俗資料館友の会文化財講座 [城陽市の文化財最新情報]を開催して

城陽市歴史民俗資料館 友の会 小林 心一

例年のように歴史民俗資料館と共催の「城陽市の文化財最新情報」を今年度も開催できるようになりました。今年は講演者が小泉氏から城陽市教育委員会文化スポーツ推進課文化財係浅井猛宏係長に交代です。

1 久津川車塚古墳の発掘調査結果

(1) JR 奈良線線路の東側で、車塚の南側道路の南方を発掘、古墳の周濠を確認、斜面には葺石や埴輪列は認められなかったが埴輪の破片が出土した。

(2) 古墳の前方から南西方の近くを発掘、墳丘の南側斜面を確認、斜面の上部には円筒埴輪片を出土、斜面下部に葺石が認められた。

(3) 渡り土手の確認、後円部の西側には渡り土手の全景を確認、長さ約 16.5m 幅約 5.4m である斜面には古墳と同様に葺石が葺かれている。渡り土手の斜面底には水鳥形埴輪片が認められた。

※1 水鳥は渡り鳥で1年待てば必ず帰ってくることから、蘇りの象徴であることを5世紀ころの人々が知っていたことに驚くが、当然のことかとも考えられる。

※2 これらの話の内容から、車塚に埋葬された人物の力がいかに大きなものであったかが想像できる。大王からのお墨付き、古墳を作る人員と資金、それに今までとは違う平地での古墳づくり、葺き石の数もばかにならない。車塚の木津川付近では葺き石の大きさの石はありません、砂ばかりです。何れからか持ち込まれた葺き石、「今私に命令されても石を入手する方法がありません」埋葬された人物が判明しないから膨らむ想像力、夢を大きくして想像したい。

2 芝ヶ原遺跡の発掘調査結果

芝ヶ原遺跡の北西方、JR 奈良線の西側を発掘、

葺き石の上に高杯がほぼ完全な形で発掘されたが、高杯の蓋がいずれも発見されていない。蓋が発見されないことは高杯の上に何かお供え品が置かれていたかとも考えられるが、お供え品も発見されていない。銅製で金メッキされた耳飾りが2対発掘されている。葺き石の上に木製のお棺を置き2体が埋葬されていたものと推定される。



文化財講座「城陽市の文化財最新情報」で教育委員会文化財担当の浅井係長の講演

城陽市内の新名神工事などの 発掘調査結果

京都府埋蔵文化財調査研究センター
小泉裕司氏の報告

城陽市内の新名神工事前などの発掘調査結果

1 下水主遺跡

弥生時代になると竪穴建物や土坑。古墳時代には溝や土杭を発掘するも遺構は少ない。古墳時代前期は大規模な溝。飛鳥時代は木組の井戸、土坑。平安時代は木組の井戸、土坑。中世は島畑が形成される。

2 水主神社東遺跡

中世に島畑が形成。

3 小樋尻遺跡

木津川から離れ近鉄電車の線路東側で国道24号線南側には縄文時代後期に竪穴住居跡、土器の埋設遺構。古墳時代には竪穴建物、掘立柱建物、溝が発掘集落があった模様。奈良時代には掘立柱



建物、柵や溝。中世には掘立柱建物や島畑が発掘されている。

4 芝山遺跡・芝山古墳群

小樋尻遺跡の東側、小高い所の古墳時代は方墳11基、円墳18基、不明1基が発掘40基の埋葬施設、埴輪棺や土壙8基。古墳時代後期・奈良時代には竪穴建物、掘立柱建物跡が発掘、集落が推定される

※ 何れも、これまでの発掘調査結果を踏まえての講演であったが、今後ともにこの様な講演会を開催、城陽市の歴史が少しでも解明できることを期待したい。

◀文化財講座のあと、資料館で開催中の「古墳のできるまで展」を見学。

資料館では、昔使われていた民具や、ちょっと昔の写真を探しています。

昭和30年～40年代頃の 暮らしの様子がわかる家電製品や 生活の写真がありませんか



▲昭和44年頃の国道24号（現在の府道69号）久津川交差点



▶昭和30年頃、洗い張り作業

●昔の生活道具

- ・例えばブラウン管テレビや真空管式ラジオ、手回しローラーで脱水した攪拌式洗濯機や、氷で冷やした冷蔵庫など

●昔の写真（特に昭和30年代～昭和50年代頃）

- ・城陽市内の風景写真や普段の生活の様子がわかる写真
- ・昔の生活道具が映っていたり、実際に使っている写真、例えば、タライで洗濯をしていたり、足踏みミシンを使って洋服を作っていたり、街頭テレビを見入る人
- ・市外へお出かけした時の写真

（写真の原版は、データに取り込んだ後、お返しします。）

●1964(昭和39)年の東京オリンピックにまつわる写真や資料

このような資料の写真提供・民具の寄贈、オリンピックに関する資料で借用展示させていただけるものがあれば城陽市歴史民俗資料館まで随時ご一報ください。

城陽市歴史民俗資料館

TEL 0774-55-7611

帝塚山大学附属博物館・城陽市歴史民俗資料館共催
JOYOエコミュージアム令和元年度夏季特別展

「自瓦自賛 ―瓦を解き明かす―」

2019(令和元)年7月6日(土)～9月8日(日)

【7月8・16・17・22・29日、8月5・13・14・19・26日、9月2日は休館日】
10時～17時(入館は16時30分まで)

会場 城陽市歴史民俗資料館 特別展示室(文化パーク城陽西館4階)

瓦などで屋根を覆うことを「葺く」と言い、瓦を葺いた屋根は日本の町並みには欠かせませんが、近年はビルが林立し、住宅でも瓦屋根が徐々に少なくなっています。価値のないものを例えて「瓦礫」と言いますが、使われなくなった瓦は文字通り「瓦礫」となる定めです。しかし、それら「瓦礫」には日本の歴史を紐解く重要な情報がつまっています。

さて、日本に瓦が伝わったのは今からおよそ1400年前の飛鳥時代であり、仏教伝来とともに発展していきました。瓦造りの技術は朝鮮半島からもたらされ、さらに、朝鮮半島の技術の源流を探ると中国にたどりつきます。中国はアジアの瓦の発祥地であり、約3000年前には本格的に瓦を使用していました。

今回の特別展では、城陽市の古代寺院跡から出土した飛鳥時代から平安時代の瓦を中心に、中国や朝鮮半島の瓦、瓦に見える古代人の技術や、少し

風変りな瓦を用いた瓦の通史を紹介します。

〔展示構成(主な展示物)〕

1. いざ入門!瓦の歴史

(中国)

平瓦 [突起付] (西周)

饗餐文半瓦当 (戦国時代・燕)

雲文軒丸瓦 (秦)

(朝鮮半島)

蓮蕾文軒丸瓦 (高句麗)

素弁蓮華文軒丸瓦 (古新羅)

複合花文軒丸瓦 (統一新羅)

鬼目文軒丸瓦 (高麗)

(日本)

素弁蓮華文軒丸瓦 (飛鳥)

単弁蓮華文軒丸瓦 (飛鳥)

複弁蓮華文軒丸瓦 (飛鳥)

巴文軒丸瓦 (平安)

軒棧瓦 (江戸)

2. 失敗作!?瓦に見える古代人の技術

双鳥文軒丸瓦 (朝鮮半島・統一新羅)

双鳥文軒平瓦 (朝鮮半島・統一新羅)

単弁蓮華文軒丸瓦 (飛鳥)

複弁蓮華文軒丸瓦 (飛鳥)

3. 城陽市の古代寺院と瓦

素弁蓮華文軒丸瓦 (平川廃寺)

南都七大寺式鬼瓦 (久世廃寺)

単弁蓮華文軒丸瓦 (正道廃寺)

4. 風変りな瓦たち

メデューサ装飾瓦 (古代ローマ)

緑釉軒先瓦 (タイ)

三彩線刻垂木先瓦

(井出寺跡出土 / 京都府指定文化財)



城陽市内の古代寺院跡出土軒丸瓦
城陽市歴史民俗資料館

鐘馗瓦
城陽市歴史民俗資料館
所蔵



観覧料

おとな 200 円、こども
(小・中学生 100 円)
ただし、城陽市内在
住の小・中学生、65
歳以上の方及び身体
障害者手帳等をお持ち
の方は無料、城陽市歴史民俗資料館友の会会
員は無料

関連事業

(1) 特別展開幕式典テープカット

日時 2019 (令和元) 年7月6日 (土)
10 時～10 時 30 分

(2) 第 84 回文化財講演会

演題 「地を飾る瓦」
講師 愛荘町立歴史文化博物館 学芸員
山本剛史 氏
日時 令和元年7月14日 (日)
13 時 30 分～15 時 (開場 13 時)
場所 寺田コミュニティセンター会議室
(文化パーク城陽西館3階)

申込み・参加費 不要

※講演会終了後、西館4階歴史民俗資料館特別
展示室にて、講師の山本剛史氏による展示解説
があります。

(3) ギャラリートーク

帝塚山大学生・大学院生が夏季特別展「瓦を解
き明かす」の見所を解説します。

日時 令和元年7月28日、8月11・25日、
9月8日 (いずれも日曜日)

場所 城陽市歴史民俗資料館 特別展示室

講師 帝塚山大学大学院生・学部生

申込み・参加費 不要 (入館料必要)

定員 10 名程度

(4) JOYO エコミュージアム

まちの魅力再発見ミニツアー

～こんな瓦があったんだ～

城陽市内を歩いて、現在家屋の屋根に葺かれ
ている瓦を見学します。最後は資料館で展示を
観覧し、瓦の魅力を再発見していただきます。

日時 令和元年8月4日 (日)
10:30～12:00 (受付 10:00 から)

集合場所 城陽市歴史民俗資料館受付前

講師 資料館職員

申込 不要

参加費 無料 (入館料必要)

定員 20 名程度

城陽市歴史民俗資料館

常設展示にも

ご注目ください



城陽市歴史民俗資料館は城陽の風土や個性を知る手がかりとなる「道—他地域との交流の舞台」「自然—人々の生活の舞台」「まつり—人々の共同意識」をテーマに、城陽市の生涯学習・学校教育の場として博物館活動を繰り広げています。

城陽には、古代より重要な役割を果たして来た文化財やモニュメントも数多く残されており、歴史民俗資料館に常設展示されています。久津川車塚古墳から出土した〈長持形石棺〉や芝ヶ原古墳から出土の〈銅釧 (銅製腕輪)〉〈四獣形鏡〉なども間近でご覧いただけます。ぜひ常設展示にも足をお運びください。(友の会会員は入館料金無料です。)



城陽市歴史民俗資料館

7月～10月の考古学教室・体験教室・勾玉教室

事業名	日時	講師・指導者	対象・定員	内容・申込方法 等
1 勾玉をつくろう!	7月26日(金) 13:30～16:00 (受付終了15:00)	資料館職員 資料館友の会ボランティア	小学生以上(小学2年生以下は保護者同伴)	滑石を削って勾玉をつくります。
2 みんな集まれ! 考古学教室④ 「銅釧(古代の腕輪)をつくろう!&和同開珎をつくろう!」	7月27日(土) 13:30～16:00 (受付終了15:00)	資料館職員 資料館友の会ボランティア	小学生以上(小学2年生以下は保護者同伴) 定員 銅釧:10名 和同開珎:12名	古墳時代の腕輪・銅釧や奈良時代のお金・和同開珎は、復元鑄型に低い温度で溶ける金属を流し込んでつくります。 申込方法:7月18日(木)10:00より電話または来館で受付
3 みんな集まれ! 考古学教室⑤ 「埴輪をつくろう! &土器をつくろう!」	8月2日(金) 13:30～16:00 (受付終了15:00)	志津川陶芸教室 梅原武平氏	小学生以上(小学2年生以下は保護者同伴) 定員20名	出土した埴輪や土器を見ながら、どのようにつくられたかを考え創作します。 作品は乾燥・焼成後、お渡しします。 申込方法:7月18日(木)10:00より電話または来館で受付
4 みんな集まれ! 考古学教室⑥ 「土器型クッキーをつくろう!」	8月8日(木) 13:30～16:00 (受付終了15:00)	資料館職員	小学生以上(小学2年生以下は保護者同伴) 定員:10名	小麦粉を使って土器片のクッキーをつくります。*材料の問い合わせは資料館まで 申込方法:7月18日(木)10:00より電話または来館で受付
5 勾玉をつくろう!	8月9日(金) 13:30～16:00(受付終了15:00)	資料館職員 資料館友の会ボランティア	小学生以上(ただし、小学2年生以下は保護者同伴) 定員:15名	滑石を削って勾玉をつくります。 申込方法:7月13日(土)10:00より電話または来館にて申込み
6 みんな集まれ! 考古学教室⑦ 「竪穴住居をつくろう!	8月15日(木) 13:30～16:00 (受付終了15:00)	資料館職員	小学生以上(小学4年生以下は保護者同伴) 定員:10名	ダンボールや木の棒を使って、ミニ竪穴住居(35cm×35cm×35cm)をつくります。 申込方法:7月18日(木)10:00より電話または来館にて受付
7 勾玉をつくろう!	8月23・30日(金) 13:30～16:00 (受付終了15:00)	資料館職員 資料館友の会ボランティア	小学生以上(ただし、小学2年生以下は保護者同伴) 定員:15名	滑石を削って勾玉をつくります。 申込方法:7月13日(土)10:00より電話または来館にて申込み
8 あそびのはくぶつ館(準備) ブース名「古代人に変身～」	9月7日(土) 13:00～16:00	資料館職員 資料館友の会ボランティア		当日(9月8日)の準備
9 あそびのはくぶつ館(本番) ブース名「古代人に変身～」	9月8日(日) 9:00～16:00	資料館職員		古墳時代の衣装(王様・巫女・庶民)を先着順に衣装を着用し、変身します。変身後、古墳が描かれた背景の前で自由に撮影できます
10 体験教室～身近な材料を使ってつくろう! 「カラフルコースター!」	9月28日(土) 13:30～16:00 (受付終了15:00)	資料館職員	小学生以上 定員:15名程度	紐を編んでコースターをつくります。
11 勾玉をつくろう!	9月28日(土) 13:30～16:00 (受付終了15:00)	資料館職員 資料館友の会ボランティア	小学生以上(ただし、小学2年生以下は保護者同伴) 定員:15名	滑石を削って勾玉をつくります。
12 体験教室～身近な材料を使ってつくろう! 「自分だけの朱印帳!」	10月27日(日) 13:30～16:00 (受付終了15:00)	資料館職員	小学生以上 定員:15名程度	寺社巡りに活躍! 世界にひとつだけの朱印帳をつくります
13 勾玉をつくろう!	10月27日(日) 13:30～16:00 (受付終了15:00)	資料館職員 資料館友の会ボランティア	小学生以上(ただし、小学2年生以下は保護者同伴) 定員:15名	滑石を削って勾玉をつくります

※参加費については、城陽市歴史民俗資料館までお問い合わせください

城陽市歴史民俗資料館友の会 会員募集中!



研修見学会、文化財講座、古文書講座、仏像講座等いろんな企画にご参加いただけます。
ぜひお友達、お知り合いの方にご紹介ください。

城陽市歴史民俗資料館友の会だより 第44号

発行日 令和元(2019)年7月1日
編集 城陽市歴史民俗資料館友の会広報
連絡先 城陽市寺田今堀1番地 城陽市歴史民俗資料館
電話 0774-55-7611 FAX0774-55-7612
www.city.joyo.kyoto.jp/rekishi/